

渥美郡三町の時代



郷土史編さん室 ☎36局6503

渥美郡11町村から 昭和の大合併を経て3町へ

昭和20年代後半の地方財政は危機的な状況を呈していました。豊橋市と渥美郡11町村（二川町・高豊村・老津村・杉山村・神戸村・田原町・野田村・赤羽根村・泉村・福江町・伊良湖岬村）からなる渥美半島もその例外ではありませんでした。

政府は地方財政の健全化を図るため、昭和28年（1953）に「町村合併促進法」を公布し、市町村の適正規模（人口8000人以上）への合併政策を押し進めました。

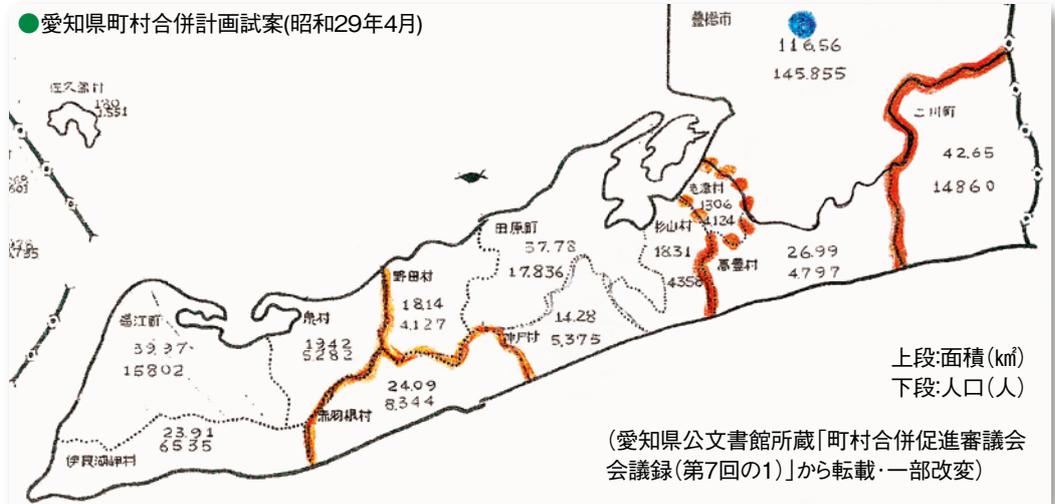
愛知県でも、県町村合併促進審議会を設置し、昭和29年4月に「愛知県町村合併計画試案」を策定しました。その試案の渥美郡の項には、田原町・神戸村・野田村・杉山村の4町村新設合併、福江町・泉村・伊良湖岬村の3町村新設合併、高豊村の豊橋市への編入合併、老津村は審議中、二川町と赤羽根村は一町村単独存立とする案が提示されました。

田原町・野田村・神戸村の3町村は、昭和29年3月の時点で合併に向けておおむね合意が得られていました。一方、杉山村は豊橋市との合併を求める大字杉山地区と田原町との合併を求める大字六連地区との意見が対立していました。

あくまでも杉山村を含めた4町村の合併を模索していた3町村でしたが、まずは3町村で合併協議を始め、昭和30年1月1日、田原町・神戸村・野田村の3町村が合併し、新田原町が誕生しました。

同年3月1日には、渥美郡二川町・高豊村・老津村の3町村は、他の2村（宝飯郡前芝村、八名郡石巻村）と共に、豊橋市に編入合併されました。一方、混乱を極めた杉山村は、県

●愛知県町村合併計画試案(昭和29年4月)



審議会から示された杉山地区は豊橋市に、六連地区は田原町に分村合併するという勧奨を受け入れ、同年4月1日に、それぞれの市町に編入合

併されました。

同年4月15日には、泉村・福江町・伊良湖岬村の3町村が新設合併し、「渥美町」が誕生しました。

赤羽根村は合併することなく単独で村制を維持し、昭和33年3月の村議会で町制への移行を確認しました。次いで田原町から合併の申し入れがありましたが、赤羽根村の世論は合併の時期尚早と判断し、単独で町制施行を目指す道を選択し、同年11月1日に「赤羽根町」となりました。

昭和20年代の「渥美郡11町村」は、昭和の大合併により、田原町・赤羽根町・渥美町の3町に縮小・統一されたのです。

(執筆委員・葉山茂生)

今月の「表紙」

▼平成6年の完成から20年目にあたる今年、蔵王山展望台がリニューアルオープンしました。新たな施設では昼と夜、それぞれ異なる魅力があり、お子さんから年配の方まで幅広く楽しんでいただけます。今後、市内外から多くの皆さんが訪れ、渥美半島の魅力を感じていただける施設となることを願って。(H)

【表紙の写真】蔵王山展望台のイルミネーション